

平成22年度 比叡平小学校 学校評価書 数値評価 4;優れている 3;良好である 2;やや課題あり 1;改善の必要あり

大項目	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価		今後の改善に向けて
			評価	評価に対する説明	評価	評価に対する説明	
豊かな人間性		道徳教育 ・各教科等を通して生命を尊重する心や公共心、公徳心などの道徳的実践力を育てる活動実施 ・「道徳の時間」の一斉公開での参観者への略案提示と評価 ・道徳資料の整備	3	道徳の時間の一斉公開では、本校の保護者や地域だけでなく他校の保護者にも子どもたちの生き生きとした様子を参観して頂いた。道徳資料は少しずつ整備されてきている。	3	道徳の授業は発問や展開の工夫がなされている。一斉公開の参観出席率を上げ、家庭の協力を得て、道徳教育を進めていってほしい。	新学習指導要領対応の道徳副読本を高学年から順次整備する。また、児童にとって魅力的な教材開発を進める。
		和と輪の音楽活動の充実(合奏、合唱) 発表会への保護者等の参加 年間を通じたたてわり班の活動(楽しむ、学ぶ、働く) ・昼休みの発表会や交流行事 読書活動への取り組み(朝読書)	4	学習発表会、お昼のコンサート、金曜カフェ訪問コンサート等の合奏・合唱は、内容的に充実しているため、地域や保護者の評価も高い。どの自慢大会やゲーム大会、百人一首大会等の昼休みの楽しいイベントも定着している。	4	合奏や合奏等はすばらしく、人と人とのつながりには最適な活動である。また、小規模校ならではのイベントも多く、行事によって子どもたちの成長も感じる。	小規模校の特性を活かし、たてわり班の活動や発表会を内容と質をさらに改善していくように努める。
		保幼小連携活動 ・子どもの保幼小間の積極的な交流 ・地域との交流や地域学習	3	今年度より年間を通して5年生と保育園児の交流を進めている。地域との交流をさらに増やしていく必要がある。	2.5	保幼小の交流は、交流を通して学びがあり、とてもよい。園児の入学前にもっと小学校生活を体験させた方がよい。	地域の皆様に学校に足を運んで頂けるような交流を計画・実施する。
		規範意識の醸成(生活習慣の確立) ・丁寧な言葉遣い ほかほかことは ・元気のよい挨拶 ・力を出し切る掃除	3	子どもたちは挨拶や掃除をしっかりとできていると思っているが、保護者の評価は子どもたちより低い。ほかほか言葉についても引き続き指導したい。	2.5	地域でも子どもたちの挨拶はよくなるようになってきている。節度ある言葉遣いや態度の指導を強化されるべきだと感じる。	地域での挨拶や家庭での掃除について、懇談会の場で保護者と話し合い、今後の方策を探っていく。
確かな学力		授業改善と学力向上 ・「聞く、話す、書く、読む、話し合う」力の育成 ・よく分かる授業の実践 ・学力向上の基礎となる、学習規律・習慣を育成 鉛筆の持ち方 学習用具の準備 ・家庭学習の定着	3	理科と算数を窓口に、自分の考えや思いを持ち、意見を交流する子どもの育成を目指し取り組み、交流の仕方を学び合った。学習規律や習慣の育成にも年間を通して取り組んでいる。	3.5	学習の仕方もある工夫され、学力の向上につながる授業がなされている。学習用具の準備等は家庭の協力が必要である。	子どもたちの話し合う力を育成するため、低学年から段階的に指導していく。指導力向上のため、今後も研修を深めていく。
		特別支援教育 ・個別の指導計画作成 ・組織的・計画的な特別支援教育体制確立 ・巡回訪問等を活用した校内研修 ・学級での特別支援教育理解	2	個別の指導計画を見直す機会を増やし、組織的に支援にあたるようにしていきたい。また、学級への特別支援教育理解の充実を図る必要がある。	2.5	個別にその子に合わせた指導がなされている。保護者の特別支援教育への理解を進める必要もあるのではないかと感じる。	個別の指導計画をもとにした話し合いを充実させ、組織的・計画的な指導ができるようにする。
		きめ細かな指導 ・クラスの決まりや予定がわかりやすい掲示と指示 ・外国語活動などのチームティーチングによる指導	3	高学年の外国語活動や人数の多い学級の算数の授業では、チームティーチングで個に応じた対応するようにしている。	3.5	算数の少人数指導はとてもよい。「聞く姿勢」「うなずく」等のカードがどの教室にも掲示されていて、徹底されている。	子ども一人ひとりの特性や力量を把握し、適切な指導ができるように、今後も児童理解に努めていく。
		ICT機器の有効活用 ・視覚に訴える授業展開 ・タイピング技術の向上	3	教室に配備された大型液晶テレビは、パソコンやOHC・デジカメのモニターとして効果的に活用できている。	3	ICT機器を授業にうまく活用されている。多くの子どもたちもパソコンに親しんでいる。	タイピング技術は一朝一夕に身につくものではないので、低学年から積み上げるようにする。
健康・体力		健康的な生活習慣を形成する保健教育の推進 ・各学年に応じた適切な指導による健康への関心・意欲の向上 ・バランスのとれた食事の摂取 ・発達段階に応じた睡眠時間の確保	3	熱中症やインフルエンザなど、時期に応じた児童・保護者への啓発活動に努めた。給食を活用し、バランスのよい食事について指導している。睡眠不足の子が少なからずいる。	3.5	保健日より掲示物等により、健康についての指導・啓発がなされている。授業においても、子どもたちが自分の健康について発言する場面も見られた。	朝から体調の不良を訴える子どもも多い。家庭において適切な栄養や休養がとれるように、保護者の協力を求めていく。
		体力や運動能力の向上 ・チャレンジランキング ・昼休み体育教室 ・休み時間の遊びと体験活動	3	市なわとびランキングに意欲的に取り組み、8の字とびでは上位にランキングされている。委員会活動で昼休み鉄棒教室や跳び箱教室も実施している。	3.5	先生方が多忙な中、長休みや昼休みの体育指導や体験活動をされているのでたいへんありがたい。	休み時間に体力づくりに取り組めるような取り組みを増やしていく。
開かれた学校づくり		授業や学校行事の積極的な公開 ・月1回以上の学習参観 ・学校行事等の公開 学校協力者やスクールガード等との連携	3	授業や学校行事は積極的に公開している。年度途中より保護者ボランティアに登下校見守りを実施して頂くようになった。	3	積極的に学校公開がなされている。スクールガードやワンダーランドに来てくださっている方たちも子どもたちを親身になってみてくださっていてありがたい。	学校情報の積極的な発信に努めていくとともに、より安全安心な学校や地域にしていけるために、保護者のより一層の協力を求めていく。
		ホームページによる情報発信 ・学校の取り組みが分かるコンテンツの充実 ・更新回数のアップ ・学校からの通信 ・学校だより、学年だよりの活用	4	児童と教職員で日々ホームページを更新し、新しい情報発信に努めている。学校だよりは月1回の発行でA3両面刷りに子どもたちの様子や学校の取り組みをできるだけ伝えるようにしている。	4	学校ホームページは県優秀校の表彰を受けられ、「きまぐれ日記」や「だらっ記」にすために、子どもたちが随時配信され、内容的にも充実している。	個人情報に配慮しながら、今後も情報発信に努めていく。来校者を増やしたり、子どもたちの様子が随時配信され、内容的にも充実している。
		子育て支援 ・保護者の悩みを聞く個別相談、個別懇談 ・保護者同士の交流や学習の場を意図した参観、懇談会の実施 ・保護者への報告・連絡・確認(家庭訪問)	3	保護者同士の交流を図ることを主な目的とする学級懇談会を実施した。子育ての悩みを抱えた保護者とは、適宜懇談をするように心がけた。	3.5	保護者懇談の場も増えているので、学校の様子が分かりやすくなっている。学年により、保護者同士の交流に温度差があることが課題である。	保護者懇談の内容を工夫するとともに、保護者の悩みを気軽に相談できるように、努めていく。
		学校評価への取り組み ・保護者・地域とともに良い学校を作ろうとする気		児童アンケート、保護者アンケートの結果をもとに自己評価が行える		アンケートにより、保護者が学校に求めることや感	評価項目を絞り、学校改善に役立てるように